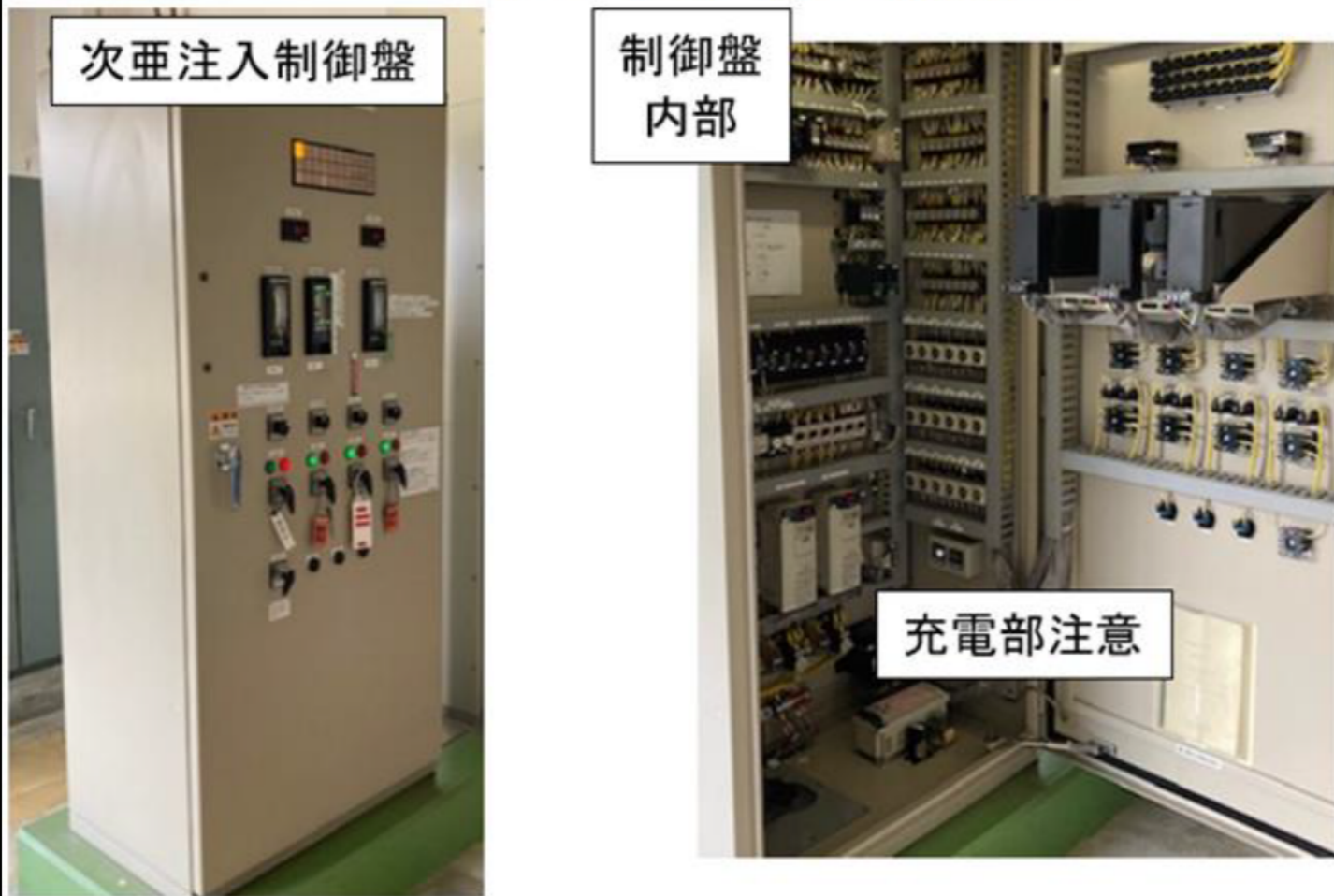


要素作業ごとに分類した手順書を作成

手順105 電気室で次亜注入制御盤の扉を開ける



説明

・次亜注入制御盤の扉を開ける

注意点

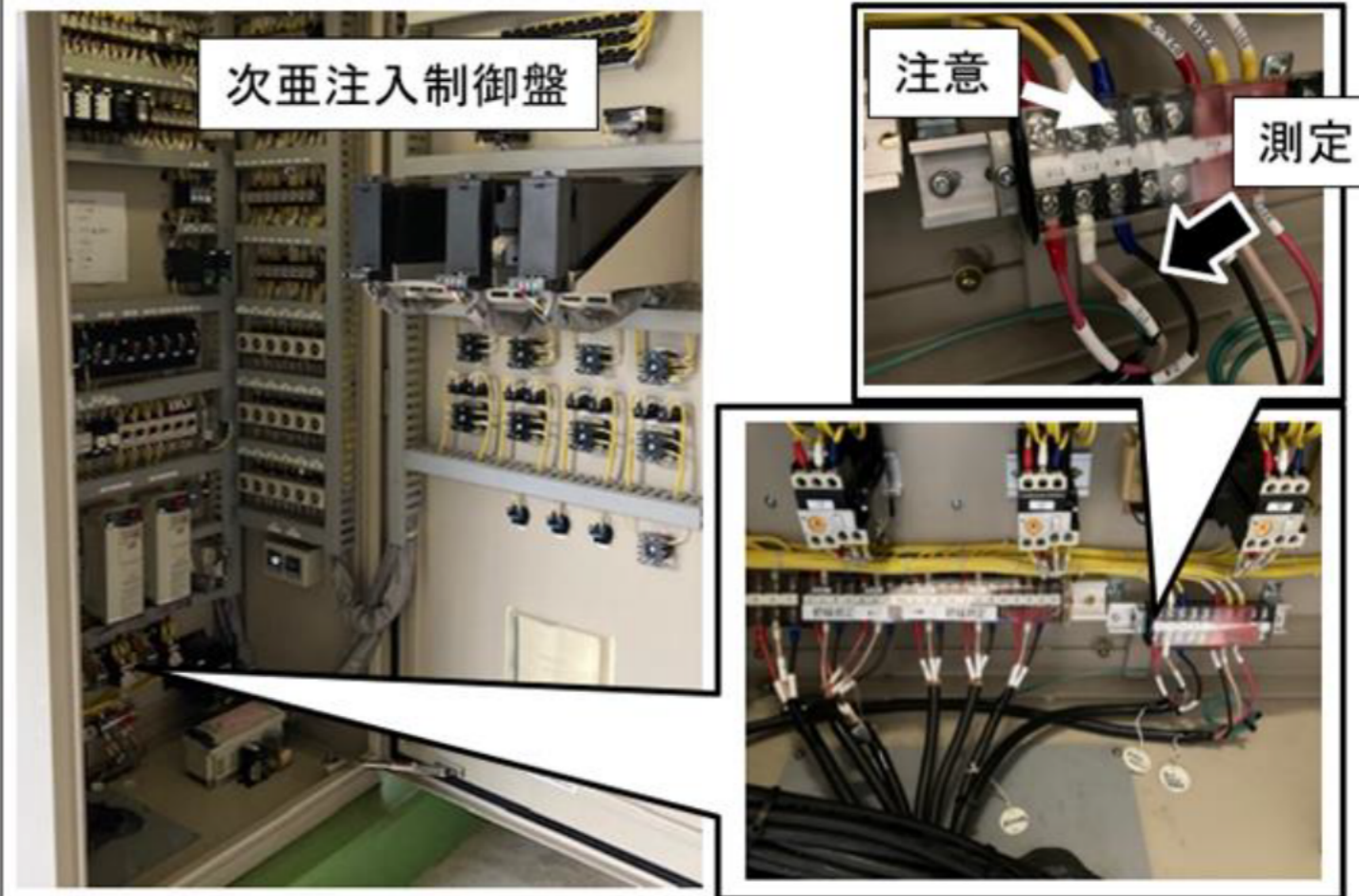
・充電部に注意すること

リスク
評価

パターン
感電

リスク
12

手順106 電気室で次亜移送ポンプ電動機の電流を測定



説明

・クランプメーターを使い次亜移送ポンプの電流を測定する(測定はクランプメーター測定手順書参照)

注意点

・充電部に注意すること

リスク
評価

パターン
感電

リスク
12

要素作業ごとに注意点、危険度を表記

危険度の評価フローを作成

危険源（場所や薬品など）と人が物理的に隔離されているか？

NO

YES

危険防止をルールにして周知しているか？

NO

YES

その危険を予知することは容易か？

NO

YES

被災の可能性

	よほど注意を高めないと 災害発生	注意を高めないと 災害発生	ルールを逸脱すると 災害につながる	特に注意しなくても 災害は起きない
--	---------------------	------------------	----------------------	----------------------

ケガの大きさ		被災の可能性			
		よほど注意を高めないと 災害発生	注意を高めないと 災害発生	ルールを逸脱すると 災害につながる	特に注意しなくても 災害は起きない
ケガの大きさ	重症	12	11	9	6
	軽傷	10	8	5	3
	赤チン	7	4	2	1

災害パターン

墜落・転落

高熱物（火傷・爆発）

高所からの墜落

解放槽への転落

高熱物・爆発による火傷

爆発による身体断裂

ケガの大きさ	重症	・5mから墜落し、頭部・全身を強打	・深い解放槽で溺れる（1.5m以上）	・体表面積30%以上（感染、痛み、体液の減少）	・全身を断裂する規模の火傷
		・2mから墜落し、身体を強打	・自力で上がるのが不可能	・熱傷の程度（皮下組織まで）	・目・手・指・足を断裂する規模の火傷
	軽傷	・50cmから転落し、身体を強打	・浅い解放槽で溺れる（1.5m未満）	・体表面積10%以上（感染、痛み、体液の減少）	・爆発時に全身を強打
		・50cmから転落し、身体を切創	・自力で上がるのが可能	・熱傷の程度（真皮組織まで）	・爆発時の衝撃による聴力障害
	赤チン	・10cmの段差から落ち足を捻挫	・転落はしなかったが擦り傷を負う	・極局部的な火傷	・爆発時飛来物等のケガ
		・10cmの段差から落ち擦り傷	・転落はしなかったが捻挫をする	・熱傷の程度（表皮組織まで）	・爆発時の転倒によるケガ
備考	・架台上的作業で、墜落の恐れが無い場合（転落防止柵有り等）は、リスクとは見なさない				

災害パターン

中毒

吸引による中毒

酸素欠乏

皮膚への付着

目への障害

ケガの大きさ	重症	・硫化水素濃度350PPM	・酸素濃度8%以下	・腐食性・刺激性物質を全身の1/3以上浴びる	・腐食性・刺激性物質や瞬間接着剤等が目に入る
		・塩素濃度40~60PPM・硫酸ミスト	・昏睡状態	・腐食性・刺激性物質による壊死等で身体機能を失う	・失明の危険
	軽傷	・硫化水素濃度20PPM	・酸素濃度16%以下	・腐食性・刺激性物質を身体に浴びる	・上記に準じた物質が目に入る
		・塩素濃度30PPM・硫酸ミスト	・意識障害	・腕、足等に付着	・視力の低下
	赤チン	・硫化水素濃度10PPM	・酸素濃度18%以下	・腐食性・刺激性物質を局部的に浴びる	・一時的な視力の低下
		・塩素濃度5~15PPM	・めまい、吐き気	・指先等の付着	・目の周囲のケガ
備考	・腐食性・刺激性に該当するがSDS「危険有害性の分類」で確認（他は障害の程度に応じ評価）				